

T I C A D V I 国連主催サイドイベント

**「T I C A D が後押しする
アフリカのグッドガバナンス」
武井外務大臣政務官ステートメント**

(8月26日 9:00－11:00)

(於:ケニヤッタ国際会議場(KICC))

御列席の皆様,

まず、アフリカにおけるグッドガバナンスの実現に向け、着実に努力を重ねてこられたアフリカ各国及び地域機関の指導者の皆様、その他各界で積極的に活動されている全ての関係者に心から敬意を表します。

T I C A D V でも確認されたとおり、平和と安定は開発の前提条件です。そして平和と安定は、良き統治なくして実現しえないものです。

昨年採択されたアジェンダ 2063 及び持続可能な開発のための 2030 アジェンダにおいても、ガバナンスの重要性が改めて確認されました。これら二つの長期目標の実施元年とも言える本年に、良き統治の実現に向けたアフリカのこれまでの歩みと今後に向けた課題を整理することは、極めて時宜を得た取組であると思います。

アフリカのオーナーシップの重要性は、T I C A D が創設当初から重視してきた点ですが、平和安全保障分野において、アフリカ自身による取組が活発に行われてきたことに敬意を示します。

特に、本日のイベントのテーマの一つであるアフリカン・ピア・レビュー・メカニズム（A P R M）については、ケニヤッタ・ケニア大統領が議長を務める中で、本年１月にマロカ氏が初の常設事務局長に任命されるなど、再活性化に向けた具体的な動きがあると承知しています。

本日のイベントでは、崇高な理念に基づき生み出されたA P R Mやアフリカ統治アーキテクチャー（A G A）などの枠組を、今後どのようにして多くの具体的な活動につなげ、それによりアフリカのガバナンス改善につなげていくことができるのかという点について、皆様の御見識をお伺いできればと考えております。

特に、現在構想中のA P R M指標やアフリカ人間の安全保障インデックスに関しても、今後どのような取り組み方をするのが良いのかについて、具体的かつ実りのある議論を期待します。

ありがとうございました。

（了）